



### ソフトボールで親睦を深める（10月1日）

町教育委員会などの主催による「第28回町民ソフトボール大会」が町営湖畔球場と山村広場で行われ、地域や職場などで編成された6チームが参加して、秋晴れの下で熱戦を繰り広げ親睦を深めました。競技の結果、優勝は大乗会ソフトボール部（幾寅）、準優勝はソフトボール愛好会（幾寅）、第3位はゴールドラッシュ（金山）となりました。

### 実りの秋を迎え、楽しく稲刈り（10月3日）

実りの秋を迎え、下金山小学校と金山小学校の全校児童が合同で「稲刈り学習」を行いました。6月の田植えも合同で行う予定でしたが、雨天による延期のため日程調整がつかず、下金山小学校の児童のみで行い、今回が初めての合同作業になりました。下金山の永井博さんから稲の刈り方を教わった後、児童達は稲刈り鎌を手に田んぼに入り、ぬかるみにはまって泥だらけになりながら、豊かに実った稲を楽しく刈り取りました。刈り取った稲は、下金山小学校の自転車小屋にはさ掛けして乾燥させました。



10月16日には、下金山小学校の児童が脱穀作業を行いました。はさ掛けして乾燥させた稲を両手で持ち、足踏み式の脱穀機にかけてもみを落としました。脱穀したもみは、別の教室で乾燥させ、今後精米を行って、12月には地域の方々を招いてもちつき集会を行う予定になっています。



### 樹木の観察と枝打ちを体験（9月25日）

幾寅小学校の3・4年生による「エジンバラ公の森公園観察学習」が行われ、樹木の成長や様子について観察し、熱心に記録を取っていました。また、この日は上川南部森づくりセンター職員や、レディース100年の森林業グループの皆さんにより、樹木の手入れ方法について説明を受け、公園内のトドマツやブンゲンストウヒなどの枝打ちも行いました。児童達は初めての枝打ち体験に一生懸命取り組んでいました。



### 安全運転を呼びかけ（9月22日）

秋の交通安全運動の一環として、町交通安全協会と交通指導員協議会、幾寅婦人会、幾寅寿倶楽部の合わせて22名の皆さんが、物産センター前で街頭啓発（セーフティコール）を行いました。集まった皆さんは、降りしきる雨の中、「ゆっくり走ろう」と書かれた旗をふりながら、通過するドライバーに安全運転を呼びかけました。

また、同日には、幾寅小学校の6年生の皆さんも街頭啓発を行いました。児童の皆さんは、「交通安全」と書かれたタスキを肩にかけて、学校で栽培した野菜などの袋詰を、通過するドライバーに手渡して、「これからも安全運転をお願いします」と元気に呼びかけていました。



## カメラレポート CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（52 2115）までお知らせください。

敬老の日を前に、一味園で白寿や卒寿、米寿を迎えられた入所者の皆さんをお祝いしようと敬老祝典が行われました。祝典では、お祝いのくず球をわった後、白寿を迎えられた新沼重雄さんに池部町長から記念品が贈られました。また、祝典には、幾寅寿倶楽部の皆さん15名が訪れ、歌や踊りなどの演芸を披露し、入所者の皆さんと楽しいひと時を過ごしました。



いつまでもお元気で（9月13日）

### 親子で砂金堀体験（9月23日）

町子ども会育成連絡協議会の主催による「砂金堀チャレンジ」が、親子連れなど約50名が参加して、金山地区の十梨別川で行われました。この事業は、本町の開基が、明治24年に砂金堀の入地に始まっていることから、砂金堀体験を通して歴史を学んでもらおうと企画されたもので、金山の佐藤清さんが講師を務め、お手本を披露した後、参加した皆さんもフライパンやスコップなどを使って砂金探しに挑戦しました。砂金を見つけるのはなかなか難しかったようですが、子ども達は真剣な眼差しで砂金を探していました。



### 一味園へ学芸会を出前（9月15日）

幾寅小学校の1・2年生25名が一味園を訪れ、出前学芸会を行いました。子ども達は、学芸会に向けて練習した歌や劇などを元気に披露し、大きな拍手を浴びていました。入所者の皆さんは、子ども達が来ることを心待ちにしていたようで、子ども達の元気な演技に、終始楽しそうに見ていました。



はまなす国体の難コースに挑戦（9月24日）  
実行委員会の主催による、第17回はまなす国体メモリアルコンペティションが、又ー競技会が落ちた空知川力又ー競技場で行われました。1人乗りと2人乗りのスラロームとワイルドウォーターの2種目に、道内の力又ー愛好家37人が参加して、巧みなパドル操作で、難コースに挑みました。

